

小学校の校庭をゴムチップに強制

教育委員会が強権的な運動場整備方針を決定

23区の校庭

土系：ダスト、クレー、天然芝
ゴム：全天候型、オールウェザー

	土系	人工芝	ゴム	小学校数
豊島区	5	1	16	22
千代田区	1	1	6	8
中央区	2		14	16
港区		7	11	18
新宿区	5	14	10	29
文京区	1	19		20
台東区			19	19
墨田区	2		23	25
江東区	45			45
品川区	27	5	5	37
目黒区	14	1	7	22
大田区	47		12	59
世田谷区	59		3	62
渋谷区	3		15	18
中野区	23			23
杉並区	41			41
北区	12	3	20	35
荒川区	17		7	24
板橋区	42	10		52
練馬区	65			65
足立区	46	22	1	69
葛飾区	49			49
江戸川区	68		3	71
合計	574	83	172	829

【豊島区のゴムチップ以外の小学校】

(土系) 池袋第一小学校 南池袋小学校
長崎小学校 高松小学校 清和小学校
(人工芝) 朝日小学校

注：中学校は全校が土系

2017年7月、豊島区教育委員会(区教委)は「区立小・中学校の標準的な運動場整備方針」を決定しました。今後、小学校はゴムチップに熱交換塗料を施した仕様とするというものです。中学校はこれまで通り全校が土系です。従って現在、土系の小学校が改修改築する際、一定の強制力が働くこととなります。

◆教育委員会の偏った見解

区教委は決定までの過程で「土系は学校用途での利便性は高くない」としました。一方「ゴムチップは地域開放や災害時の利用にも十分耐える」「ケガが減り全ての条件を満たす」などゴムへ誘導する偏った見解を示しました。

◆自然に親しむ環境を

区教委は中学校は土が良いと矛盾した決定をしました。都内23区はゴムより土系が圧倒的に多く(左表)、また市町村ではゴムはゼロです。子どもは都会で自然に親しむ機会が少ないからこそ土にふれることが大事です。少々のすり傷で痛みを知り成長するのではないのでしょうか。陸上競技トラックも同様の

◆押し付けでなく

民主的な決定が大事

私は土埃等の問題は万全の対策を取り、児童や保護者、近隣住民の意見をよく聞き、話し合った上でゴムを選ぶのであれば、それも良しと考えます。しかし区教委が一方的な方針を押し付けて強制して

◆教育長が私の質疑に

「発言を取り消せ」と暴言

2017年10月、私は決算特別委員会でのこの問題を取り上げました。すると教育長は私に「発言を取り消せ」と暴言を吐きました。これは議員の発言権を踏みつける行為です。豊島区政における区民の声に耳を傾けようとする強い権体質の表れです。私は毅然と対応し、教育長は本会議で自らの発言を撤回し陳謝しました。これからも私は全力で立ち向かいます。

日本共産党 区議会議員

森 とおる

区役所控室 3981-1429

自宅 6912-0135

2018年 6月 26日発行

